

日本豚病研究会報 原稿作成 著者チェックリスト

- 本原稿は豚の疾病、獣医療、生産管理などに関する内容であり、他誌に発表・投稿されておらず、また発表予定もない。
- 全共著者が原稿を確認し、投稿を了承している。
- 所属機関、関連機関は投稿を了承している。

- 投稿要領 <https://tonbyo.com/proceedings/instructions> に沿って記載されている。
- 規程枚数 (A4 版用紙を用い 1 枚当り 800 字程度、10 枚以内 目安) の範囲内である。
- 原稿第 1 頁に以下の内容が記入してある。
- 原稿の投稿区分 (総説、原著論文、資料またはトピック)
- 表題
- 著者名
- 所属機関 (郵便番号と所在地、電子メールアドレス (任意))
- ローマ字の氏名 (名前はイニシャルのみ) と英文表題
- Abstract (原著論文のみ、希望者のみ、和文要約に一致している)
- 和文要約 (原著論文のみ、360 字以内)
- 3-5 語のキーワード
- 本文中表記は以下の項目に従っている。
- 「である」「がみられた」など「である」調を使用している。
- 体言止めは使用していない。
- 数字、英語は半角を使用している。
- 句点は“、”、読点は”。“に統一されている。
- コンマ(,)、ピリオド(.)、コロン(:)、括弧の後ろには半角スペースを入れている。
- 「No. 1」のように「No.」と「番号」の間に半角スペースを入れている。
- “および”は“及び”に統一されている。
- 特殊文字の使用は極力避ける(例:「ml」は「mL」と表記する)。
- 数字と単位記号の間には、半角スペースを入れる(例:3%、10 ml、15 kg)。
- “<” “_” “-”の標記は統一している(半角と全角)。
- 「本例」、「本事例」、「当該牛」等の報告症例を指す表現は、「本症例」で統一している。
- 「か月」、「ヶ月」、「ケ月」の表現は、「カ月」で統一している。
- 「週齢」、「日齢」の表現は、本文、図表で統一している。
- 「都道府県」を用いる場合は、“東京都”“北海道”“大阪府”“京都府”が入っている。
- 略語は初出時に完全な用語を用い、以下に略語を使用している(例:豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS))。
- 初出時は CSF (豚熱)、ASF (アフリカ豚熱) を用い、以下は CSF、ASF を使用している。

- “ウィルス” は “ウイルス” に統一されている。
- 家畜の伝染性疾患の名称は最新のものを採用している。
https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/eisei/e_koutei/kaisei_kadenhou/kaiseir2.html 【家畜伝染病予防法施行令の一部を改正する政令(令和2年6月24日公布)】 家畜の伝染性疾患の名称変更について(PDF：261KB)
- 学名は斜体、血清名は斜体なしで記載されている(例 *Salmonella* Typhimurium)。
- 種名等が変更して間もないものは、新旧の名称を () で併記する。
- 西暦を使用している。
- 図表は以下の項目に従っている。
- 図と写真は一括して図としている。
- 図表は必要最小限に止め、多くとも10枚までとなっている。
- 図は横6.5cmで縦は6.5cm以下であり、図表のフォント、サイズは適切である。
- 表に縦線は使用していない。
- 表のタイトルは表の上に、図のタイトルは図の下に記載している。
- 個々の図表番号を記し、その挿入希望位置を原稿本文の右欄外に朱書きしている。
- 写真や図はカラーで作成している。(冊子体はカラーで作成されたもの白黒印刷、ホームページアップロード用PDFはそのままカラー)。
- すべての著者について利益相反の有無が投稿規程に従って明記されている。
- 引用文献は以下の項目に従っている。
- 引用文献は本文末尾にアルファベット順に一括記載されている。
- 引用文献のアルファベット順に一括記載されている。(農林水産省は Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries と英語表記してもよい。アルファベット順としては漢字表記でも“M”としている。)
- 引用文献は投稿規程に従い記載されている。
- 引用文献の「Vet Microbiol, 136: 359-365.」の記載は「Vet Microbiol, (半角スペース)136:(半角スペース)359-365.」となっている。
(wordの「ファイル」→「オプション」→「表示」→「すべての編集記号を表示する」をチェックすると半角スペース等の編集記号が確認できます。)
- ホームページを引用する場合は下記の例に従い記載されている。末尾に最終閲覧日を記載する。

例

- 1) 農林水産省拡大豚コレラ疫学調査チーム(2019)豚コレラの疫学調査に係る中間取りまとめ. <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/>(2020年7月21日閲覧)
- 2) 農林水産省(2019)豚コレラについて(畜産農家の方へ).

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html#nouka> (2020年7月21日閲覧)

3) Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2018) 飼料添加物「硫酸コリスチン」の指定取消しについて.

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/siryo/index.html> (2020年7月21日閲覧)

- 本文中では引用文最後の右肩に文献番号を片括弧付で記載している。(例¹⁾、例^{2, 3, 5)}、例⁶⁻⁹⁾)
- 引用文献はすべて公開されている。(印刷中、In pressの論文は投稿時原稿を参考資料として添付する)
- 誤字・脱字、及び文章上の問題がない。
- 英文投稿原稿は英文校閲を受けている。
- 全ての数字は再確認している。

原稿提出締め切りは、3月15日(8月発刊号)、8月15日(2月号発刊号)です。

提出先は tonbyou@ml.affrc.go.jp、tshiba@affrc.go.jp です。

初回投稿時 cc に全共著者のメールアドレスをいれてください。

本チェックリストも、同時にご提出ください。

(すべての原稿は専門家が査読し、編集の都合により改稿を求め、あるいは返稿することがあります。)

不明な点があれば下記までお問い合わせいただければ幸いです。

日本豚病研究会 編集担当幹事長

芝原友幸

tshiba@affrc.go.jp

Tel・Fax 029-838-7774

〒305-0856 茨城県つくば市観音台 3-1-5

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

動物衛生研究部門 衛生管理研究領域 病理・生産病グループ